

第 27 回地方独立行政法人神戸市民病院機構評価委員会 欠席委員の意見

近田委員

<26 事業年度評価についてのコメント>

第 1-4-(1) 患者ニーズの応じたサービスの提供

- ・インフォームド・コンセントは、あまり形式的にならずに、患者さんの気持ちを大切に、納得いくまで、説明してあげてほしい。

第 2-1-(1) 優れた専門職の確保

- ・神戸市看護大学には、優秀な学生が多いので、連携を図って確保に努めることで、病院のレベルアップにも繋げてほしい。

第 2-1-(3) 人材育成等における地域貢献

- ・これからの国際貢献は、アジアが中心になるので、ダナンでの出来事のありのままの記録をまとめることが、後々、次の取り組みに役に立つので、報告を記録して、それを評価に繋げてほしい。

第 2-2-(2) 働きやすい環境の整備

- ・看護協会でも、ワーク・ライフ・バランスの向上に向けて取り組んでいるところであり、検討を進めてほしい。
- ・看護師の満足度が低いことについては、クロス評価で分析するなど、実情の把握に努めてほしい。また、高いキャリアの職員の満足度が高いのであれば、認定看護師や特定行為などのキャリアアップを誘導するとともに、スペシャリストだけでなく、ゼネラリストにもキャリアを高める仕組みづくりを検討してほしい。

その他

- ・中央市民病院と西市民病院は特性が異なるので、それぞれの特性に応じた評価が必要。今後、西神戸医療センターも加わるのなら、それぞれの病院の設置目的やミッションの違いも大切に評価を検討してほしい。

武田委員

<26 事業年度評価についての意見>

- ・小項目・大項目評価・全体評価とも意見はない。中央・西ともによくやっている。

<26 事業年度評価についてのコメント>

第 1-4-(1) 患者のニーズに応じたサービスの提供について

- ・インフォームド・コンセントに関して、患者への丁寧な説明やカルテへの記録などを着実に行うことが重要である。

山口委員

<26 事業年度評価についての意見>

- ・特になし。